

登録コード	HS901100	開講年度	2026	大学院共通科目			
授業題目	科学技術政策特論					担当教員	濱渦 康範 他
英文授業名	Science and Technology Policy					副担当	
単位数	2	講義期間	後期(前半)	曜日・時限	木曜・3時限 木曜・4時限	対象学生	全研究科の大学院生（2025年度以前入学の総合理工工学研究科の学生はHS901100の登録コードで登録してください）
			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄					(授業の達成目標)	
	2026HSカ						
	【専攻】理工学系の専門分野における深い知識・卓越した技能				⇄	先端的・学際的な研究開発の推進方策、科学技術イノベーションと産業・地域・大学との関わりについて学び、専門分野における深い知識・卓越した技能を身に付けることができる。	
	【専攻】理工学系分野における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				⇄	各分野・社会で活躍している講師からの講義により、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力を身に付けることができる。	
	【専攻】理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				⇄	様々な分野の有識者の講義を通して、自身の専門領域を超えた基本的な知識と将来の研究者、技術者に必要とされる広い視野を修得し、理工学系の専門分野近傍の課題に対する新たな知見と応用力を身に付けることができる。	
(2)詳細/Detailed information	国内外の科学技術に関する政策の状況、主要科学技術分野や研究開発システムの動向等について紹介した上で、先端的・学際的な研究開発の推進方策、科学技術イノベーションと産業・地域・大学との関わり、次世代を担う研究者・技術者に期待される役割や、キャリアデザイン等について考える機会を提供する。一連の授業を受講した学生が、自身の専門領域を超えた基本的な知識を習得し、社会において自身に期待される役割について考えを深められることを目指す。						
(3)授業の概要/Overview of course	オムニバス形式の実務者・有識者による講義を通して、国内外の科学技術政策や研究開発の動向を俯瞰するとともに、先端的・学際的な研究開発の推進方策、科学技術イノベーションと産業・地域・大学との関わり、次代を担う研究者・技術者に期待される役割等について考える。						
(4)授業計画/Course plan	ZOOM形式によるオンライン授業とする。各回の授業内容は以下のとおり。（日程・タイトル・内容等に変更となる場合があるため、最新情報はeALPSを確認すること。） なお、講義資料、ZOOMミーティングID等の情報については、eALPSに掲載する。 第1回：10月1日（木）13:00～14:30 「研究成果の社会実装に向けた科学技術・イノベーション政策の取り組みについて」 講師 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門 小林 洋介 主任研究員 第2回：10月1日（木）14:40～16:10 「研究成果の社会実装に向けた科学技術・イノベーション政策の取り組みについて」 講師 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門 小林 洋介 主任研究員 第3回：10月8日（木）13:00～14:30 調整中 第4回：10月8日（木）14:40～16:10 調整中 第5回：10月15日（木）13:00～14:30 調整中 第6回：10月15日（木）14:40～16:10 調整中 第7回：10月22日（木）13:00～14:30 調整中 講師 株式会社エマージングテクノロジーズ 深澤 知憲 代表取締役社長 第8回：10月22日（木）14:40～16:10 調整中 講師 株式会社エマージングテクノロジーズ 深澤 知憲 代表取締役社長 第9回：10月29日（木）13:00～14:30 「研究が変える農林水産業」 講師 農林水産省 佐藤 夏人 農林水産技術会議事務局 研究総務官 第10回：10月29日（木）14:40～16:10 「研究が変える農林水産業」 講師 農林水産省 佐藤 夏人 農林水産技術会議事務局 研究総務官 第11回：11月5日（木）13:00～14:30 調整中 講師 長野県庁 新田 恭士 長野県副知事 第12回：11月5日（木）14:40～16:10 調整中 講師 東日本旅客鉄道株式会社 下大藺 浩 執行役員 長野支社長 第13回：11月12日（木）13:00～14:30 調整中 第14回：11月12日（木）14:40～16:10 調整中 第15回：11月19日（木）13:00～14:30 「Science Communication」 講師 宇宙航空研究開発機構（JAXA） Elizabeth Tasker 准教授						

(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	・ 期末レポートにより評価する。 ・ 詳細はオリエンテーションの際に説明する。
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	・ 期末レポートは、課題について、基本問題を説明し、課題に対する既存の見解及び自身の今後の研究活動や、キャリアデザインについての見解が提示されていれば「合格水準にある」、基本問題及び今後の発展性について説明し、課題に対する既存の見解及び自身の今後の研究活動や、キャリアデザインについての見解が提示されていれば「やや上にある」、基本問題及び今後の発展性について説明し、課題に対する既存の見解に加え、自身の見解を適切に示し、それらが自身の今後の研究活動や、キャリアデザインにどのように関連し役立てられうるかについての見解が提示されていれば「かなり上にある」、「かなり上にある」のうち、示された内容が教員を感心させるレベルにあるものを「卓越している」として評価する。
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	なし
(8)履修上の注意 /Notes	・ 本科目は2026年度開講をもって終了します。2025年度以前の入学生のうち、本科目を選択必修科目として認定を受ける必要がある場合は、今回必ず履修してください。 ・ 本科目については、授業担当教員への履修の意思表示は必要ありません。 ・ 本科目は全ての回に出席することを原則としますが、社会人学生等でやむを得ず欠席した場合には、eALPSに各回の授業映像を一定期間（講義日から3日程度）掲載するので、当該講義の授業映像を最後まで視聴してください。 ・ 本科目は、産学官の各界から多彩な講師を招へいます。各回では可能な限り質疑討論の時間も設ける予定ですので、質疑討論には積極的に参加する心構えを持って受講してください。 ・ 本科目は大学院共通教育用科目です。全研究科の大学院生の受講をお待ちしています。 ・ 本科目は、総合理工学研究科（修士課程）と総合医理工学研究科総合理工学専攻（博士課程）で合同開講を行っており、修士課程在籍時に履修した同科目（2018年度以降開講に限る）の単位を、博士課程において入学前既修得単位として認定することができます。ただし、同科目の単位数2単位を差し引いても修士課程の修了要件を充たしていることが確認できた場合に限りです。
(9)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	・ 各回の授業内容に関する質問は、授業時に講師へ直接行ってください。 ・ その他授業全般に関する質問等は、大学院室（daigakuin@gm.shinshu-u.ac.jp）へメールで問い合わせてください。
(10)授業の形式 /Course format	毎回設定するテーマに深く関連する講師を招き、当該テーマに関する現状、課題、将来について、講義を受け、質疑討論する。
【教科書 /Textbook(s)】	教科書は用いません。
【参考書 /Reference work(s)】	参考資料は授業中に適宜資料を紹介します。